

精密ダイカスト製品を 世界に供給



自動車ステアリング部品

株式会社エヌエスシー

**弱電部門で
世界シェア50%!**

創業以来アルミのダイカストメーカーとして、世界に部品を供給し続けているエヌエスシー。同社の製品はHDD部品、VTR部品等の弱電部門で、世界のシェア50%を占めている。

製造拠点の岡山工場に加え、平成7年からはタイ、中国と海外にも拠点を増やし、現在はタイに3工場、中国に1工場、現地での総従業員数は4200名を超える。各工場が量を支えているのだ。HDD部品の製造は月産800万個を超え、一つの製品を一度に100万個単位で製造する。

同社は大阪本社が司令塔の役割を果たしている。本社に構える技術センターは、金型の設計・製作・試作・工程設計・開発を受け持つ、いわば同社の頭脳の部分。金型設計から海外拠点の品質管理まで一貫し



岡山新工場（岡山県美作市）

てできるのが、大きな強みだ。CAD、CAE（流動解析）を駆使し、海外のこの工場でも寸分の狂いもない製品の提供を維持している。

特に弱電関係は埃やゴミを嫌う繊細な製品だけに、高品質を求められるが、寸法公差1000分の2と高い基準をキープしている。

「どこで作っても同じ品質の製品ができるのが当社の強み。また顧客のニーズに合わせて、すぐに金型の設計から変えることができます。その柔軟性や素早い対応で信頼をいただいています」と西村康宏社長は語る。

**自動車部品業界に参入！
5年先を見据えた製品提案で
さらなる高みを目指す**

平成15年からは自動車部品製造にも乗り出した。おりしも国内の大手自動車メーカーが従来の傘下企業を離れ、グローバル展開に踏み出した時。海外での部品調達先を探していた各自動車メーカーの目に留まったのが同社だった。西村社長は「弱電部品で鍛えた高品質の生産力が認められた」と語る。

競争の厳しい業界だが、自動車部品では後発組の同社は「後発だからこそ、あえて難しい部品に取り組んだ」という。特に難しい技術を要するステアリングパーツやカーエアコンのコンプレッサーを設計・製造している。オートパーツの中でも、強度や耐圧が求められるものばかりだが、それをこなすだけの設備や技術を保持しているのだ。

今では同社の生産量は従来の弱電

部品の生産量はそのままに、自動車部品の製造をプラスし、全体に占める割合は自動車部品が6割を超えるという。

自動車はおおよそ5年でモデルチェンジするが、すでに4～5年先を考えて、製品の提案をしている。サンプルを製作し、プレゼン、量産するまでに1年間テストを実施する等、ここでも信頼獲得に努めている。

技術面、コスト面でメーカーにものが言える会社、そして全工場の毎月の採算を解析し、財力面でも体力のある会社づくりを目指している。

主な事業内容

ダイカスト金型の設計・製作、ダイカスト製品の鑄造・精密機械加工、パソコン用HDDケース、ビデオデッキ用ヘッド、自動車用ステアリング部品の製造等



西村康宏さん
代表取締役社長

株式会社エヌエスシー

Company
Profile

住所／〒577-0025
大阪府東大阪市新家1-3-7
創業／昭和41年3月
設立／平成13年8月
資本金／3,000万円
従業員／260名（平成21年1月現在）
TEL／06-6789-1118
FAX／06-6785-5555

ISO 9001
ISO 14001

全国
18

<http://www.nsc-osk.jp/>